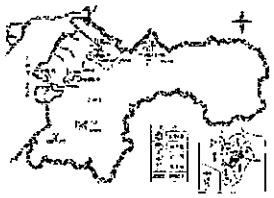
総　括

平成２７年４月１日現在

目で見てわかる統計

管内環境 人口・世帯



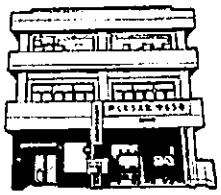
面　積
714.66 ㎢

人　口
143,494 人(住基人口)

世 帯 数
58,817 世帯

消防予算 構成・人員

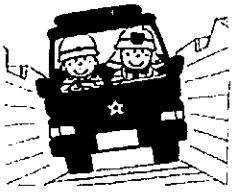
一般会計予算
2,322,400 千円



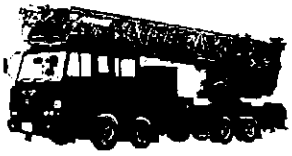
署　別
１本部
２　署
４分署

職 員 数
218 名
211 名（男）
７名（女）

消防施設 車 両 等



ポンプ車等
ポンプ車　７台
タンク車　４台
化学車　１台



特殊車両
屈折梯子車　１台
救助工作車　２台
三点セット(高所放水車・大型化学車・原搬車)
支援車(Ⅰ型)　１台
津波・大規模風水害対策車　１台
広報車等　17 台
消防自動二輪車　３台

救 急 車
高規格救急車　８台
救急車(2Ｂ型)　１台

火 災 救 急 救 助

出火件数　41 件
損害額　94,908 千円

救急出場件数　6,475 件
救急搬送人員　6,051 人

救助活動件数　89 件
救助人員　58 人

１．管内の概要

本圏域は、熊本県南部に位置し、球磨川、氷川両水系に沿った流域圏で、東は九州山地に接し西は八代海に臨み、東西５０キロメートル南北２５キロメートルの範囲に八代市と氷川町の１市１町で構成されています。

圏域北部の氷川水系山間地は、山間地に適した農業（お茶、椎茸、生姜等）及び林業が盛んであり、泉町の五家荘県立自然公園は平家の里、五木の子守唄等でその名を知られ、原生林、渓谷等、自然の景勝地に恵まれ観光地としても脚光を浴びています。

平坦部は、豊かな土地と水と自然に恵まれた八代平野の中核をなし、稲作、トマト、メロン、イチゴ等のハウス栽培、また、い草の生産が盛んで、農業、商業の町として重要な役割を果たしています。

圏域南部の中心には球磨川が流れ、山間地では林業が中心的産業として盛んであり、また同水系河口に位置する八代市の中心は、豊かな水と土地の自然条件に恵まれ、農業とともに県南唯一の田園工業都市として今日に至っています。

交通面においては、九州新幹線の全線開通、九州自動車道や南九州西廻り自動車道（八代～芦北間）の開通により、本圏域はもとより隣接する人吉下球磨広域圏、水俣・芦北広域圏の産業交通の拠点として、また、八代港の重点港湾選定により、海外航路が開設され、海上交通においても重要な役割を担っています。

２．消防の沿革

昭和１８年		警察署統括のもと常備消防班を二部制にし、班長以下１４名とフォード消防車１台を配備し、発足する。
昭和２３年	３月	消防組織法の施行（自治体消防発足）に従い八代市消防課を発足、
昭和２６年		照明灯消防車１台購入（ニッサン）
昭和２７年	５月	危険物取締条例、火災予防条例を制定し、予防行政移行の基をつくる。
昭和２８年	５月	八代市消防本部を創設し、消防本部、消防署を設置する。消防長は助役の兼務とし次長兼署長の専任を置く。（職員２９人）
	７月	ジープ消防車購入（ニッサン）　定数３５人
昭和３０年	１０月	消防長を専任し署長兼務とする。
昭和３５年	３月	水槽式消防車１台購入（イスズ）
昭和３６年	３月	可搬動力ポンプ１５HP１台購入
	６月	定数４０人
	８月	日奈久地区に分駐所を設置し、水槽式消防車１台で２部制の４名を配置する。
	１０月	日本損害保険協会よりポンプ車１台寄贈
昭和３７年	１月	消防ポンプ車１台購入（イスズ）
昭和３８年	８月	司令車（ジープ型）購入（三菱）
昭和４０年	１月	水槽付ポンプ車１台購入（イスズ）し、日奈久分駐所へ配置
	１２月	定数４５人
	１２月	超短波無線電話装置購入（基地１　移動３）出力１０ワット
昭和４１年	４月	定数５０人
	１０月	水槽付ポンプ車老朽化のため廃車
昭和４２年	２月	救急車（トヨタ）を購入し、救急隊を編成（６名兼務）し、業務を開始する。
	８月	本部次長兼署長の専任を置く。
昭和４３年	２月	ポンプ車１台購入（トヨタ）
	４月	定数５５人
	９月	ポンプ車（ニッサン１９５３年式）老朽化のため廃車
	１１月	超短波無線電話装置購入（移動２）１号車　日奈久１号車
昭和４４年	２月	超短波無線電話装置購入（移動１）３号車
	１１月	原付自転車（スズキ K90）査察用として購入
昭和４５年	４月	指揮車（ニッサン・セドリック）買替
	７月	定数５７人
昭和４６年	３月	定数５８人
	４月	超短波無線電話装置購入（移動２）
	７月	ポンプ車（ニッサン１９５１年式）老朽化のため廃車

昭和４６年	９月	消防長専任を廃し、助役の兼務とする。
	１０月	日奈久分駐所、所長を日勤制とし所員１１名とする。
	１０月	定数６０人
	１１月	高発泡（日機東消型）油火災消火用２機購入
昭和４７年	４月	定数６４人
	１２月	定数６６人
昭和４８年	２月	定数７０人
	２月	スノーケル車（１５メートル級）購入
	４月	八代消防組合消防本部発足
	４月	定数１１０人
	８月	本田技研から広報車（軽）１台寄贈
	９月	県共済農業協同組合連合会から救急車１台寄贈
	１０月	鏡分署開設（仮庁舎にて業務開始、ポンプ車３台、救急車１台、広報車１台、職員３２名）
	１１月	日赤八代地区から救急車１台寄贈
昭和４９年	４月	鏡分署庁舎新築落成
	４月	超短波無線電話（基地局）買替え
	１０月	八代消防署ポンプ車格納庫増設
昭和５０年	１月	水槽付ポンプ車１台購入（買替え）
	１月	化学車１台購入
	１２月	普通ポンプ車１台購入（買替え）
昭和５１年	７月	八代広域行政事務組合消防本部に名称変更
	７月	鏡分署を鏡消防署に名称変更
	７月	定数１１４人
	１０月	日本損害保険協会から普通ポンプ車１台寄贈
昭和５２年	１０月	テレホンサービス設置
昭和５３年	４月	定数１３２人
	５月	八代消防署日奈久分駐所庁舎新築落成
	９月	屈折はしご車オーバーホール
	１１月	八代消防署新開分署開設（仮庁舎にて業務開始）
	１１月	三点セット購入（梯子式高所放水車、大型化学車、泡原液搬送車）
	１１月	水槽付ポンプ車１台購入
昭和５４年	３月	八代消防署新開分署庁舎新築落成
昭和５５年	３月	救助工作車購入
	３月	石油貯蔵施設設立地対策事業で救急車、積載車、指揮車、広報車を購入
	４月	定数１４３人

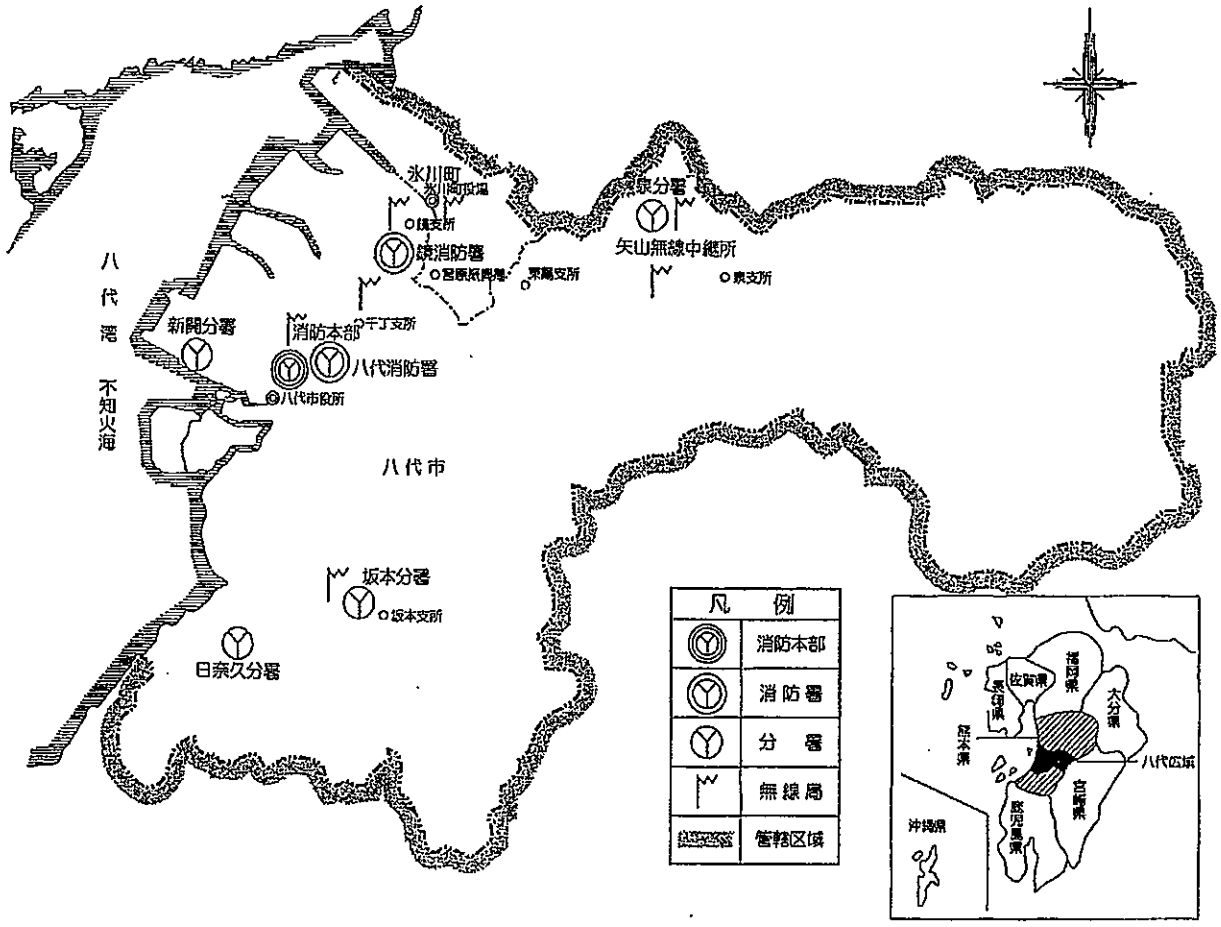
昭和５５年１１月　普通ポンプ車１台購入
昭和５６年　２月　日本損害保険協会から救急車１台寄贈
　　３月　県共済農業協同組合連合会から救急車１台寄贈
　　３月　八代消防署坂本分駐所庁舎落成（ポンプ車１台、救急車１台、広報車１台、職員１１名）
　　４月　定数１５４人
　　９月　日本消防協会から救急車１台寄贈
　１２月　普通ポンプ車１台購入
昭和５７年　３月　鏡消防署泉分駐所庁舎新築落成（ポンプ車１台、救急車１台、広報車１台、職員１１名）
　　３月　広報車２台購入
　　７月　広報車２台購入（買替え）
　１２月　消防ラッパ隊（隊長以下７名）発足
昭和５８年１０月　広報車１台購入（買替え）
昭和５９年　３月　日本損害保険協会から救急車１台寄贈
　　７月　広報車２台購入（１台新規、１台買替え）
　１１月　屈折はしご車オーバーホール
昭和６０年　３月　高所放水車オーバーホール
　　４月　八代広域少年婦人防火委員会発足
　１１月　普通ポンプ車１台購入（買替え）
昭和６１年１１月　普通ポンプ車１台購入（買替え）
昭和６２年　２月　県共済農業協同組合連合会から救急車１台寄贈
昭和６３年　１月　水槽式ポンプ車１台購入（買替え）
　１１月　通信指令室整備に伴う機構改革
平成　元年　３月　消防緊急情報システム開設
　　３月　１１９番本部通信指令室集約（竜北町一部を除く）
　　７月　矢山岳中継所無線機整備
　　９月　日本消防協会から救急車１台寄贈
　１０月　化学車１台購入（買替え）
平成　２年　２月　救助隊の移設及び車庫新設
平成　３年　１月　普通ポンプ車１台購入（買替え）
　　１月　消防音楽隊（隊長以下２０名）発足
　　３月　救急車（４ＷＤ)１台購入
　１１月　普通ポンプ車１台購入（買替え）
平成　４年　１月　日本損害保険協会から救急車１台寄贈
　　９月　日本防火協会から広報車１台寄贈
平成　５年　１月　屈折はしご車１台購入（買替え）

平成　５年	１月	八代広域幼少年婦人防火委員会に名称変更
	３月	現場指揮車１台購入
	３月	救急車（４WD)１台購入
	４月	水難救助隊（隊長以下８名）発足
	１１月	水槽付ポンプ車１台購入（買替え）
	１２月	高所放水車オーバーホール
平成　６年	３月	救急車（４WD・オートマチック）１台購入（買替え）
	４月	定数１６４人
	４月	救急資機材（監視用モニター）購入
	５月	県共済農業協同組合連合会から救急車１台寄贈
	１１月	定数１７３人
平成　７年	２月	救助工作車（Ⅱ型）１台購入
	２月	普通ポンプ自動車（ＣＤ－１型４WD）１台購入
	３月	指令車１台購入
	３月	気象観測装置一式導入
	３月	救急資機材（監視用モニター）購入
	３月	消防本部八代消防署庁舎移転新築落成
	１１月	広報車１台購入（買替え）
平成　８年	３月	広報車４台購入（買替え）
	４月	定数１７９人
平成　９年	１月	救急車（高規格・オートマチック）１台購入（新規）
	３月	大型化学車１台購入（買替え）
	７月	日本損害保険協会から水槽付ポンプ車１台寄贈
	９月	人員搬送車（２９人乗り）購入（新規）
平成１０年	３月	救急指導車購入（新規）
	７月	事務用連絡車１台購入（買替え）
	１１月	指揮車１台購入（買替え）
	１２月	普通ポンプ車（ＣＤ－１型４WD）１台購入（買替え）
平成１１年	３月	県共済農業協同組合連合会から救急車１台寄贈
	４月	岩下兄弟ＫＫから災害支援車１台寄贈
平成１２年	３月	梯子付消防ポンプ自動車（３０m・コンビナート仕様）１台購入（買替え）
	４月	定数１８１人
	９月	資機材搬送車（２．９３ｔクレーン付）１台購入（買替え）
	１２月	屈折はしご車オーバーホール
	３月	救急車（４WD・オートマチック）１台購入（買替え）

平成１３年	４月	定数１８３人
	７月	普通ポンプ車（ＣＤ－１型４ＷＤ）１台購入（買替え）
	１１月	普通ポンプ車（ＣＤ－１型４ＷＤ）１台購入（買替え）
平成１４年	４月	定数１８５人
	１２月	救急車（高規格・オートマチック４ＷＳ）１台購入（新規）
	１２月	泡原液搬送車１台購入（買替え）
平成１５年	８月	防災指導車購入（買替え）
平成１６年	３月	救急車（オートマチック）１台購入（買替え）
	３月	高機能消防指令システム更新
平成１７年	３月	化学車（オートマチック）１台購入（買替え）
	４月	定数１９０人
	８月	宝くじ協会から消火通報訓練指導車（マツダ）１台寄贈
	１２月	災害対応特殊救急自動車１台購入（買替え）
平成１８年	３月	災害対応特殊水槽付ポンプ自動車１台購入（買替え）
平成１９年	３月	日本消防協会から消防自動二輪車３台寄贈
	４月	消防自動二輪隊発足（隊長以下１０名）
	８月	梯子付消防ポンプ車（３０ｍ級）オーバーホール
	１０月	鏡消防署庁舎移転新築落成
	１２月	救助工作車（Ⅱ型）・救助資機材購入（買替え）
平成２０年	４月	定数１９４人
	１２月	屈折はしご車オーバーホール
平成２１年	１月	普通ポンプ車（ＣＤ－１型）１台購入（買替え）
	４月	定数２０２人
平成２２年	３月	普通ポンプ車（ＣＤ－１型）１台購入（買替え）
	３月	八代消防署新開分署屋外附帯施設改築工事
	４月	定数２０７人
	４月	災害対応特殊救急自動車１台購入（新規）
	１１月	高規格救急自動車１台購入（新規）
平成２３年	４月	定数２１０人
	１２月	災害対応特殊救急自動車１台購入（買替え）
平成２４年	１月	広報車２台購入（買替え）
	２月	小型動力ポンプ付水槽車１台（買替え）
	３月	出場車両運用管理装置整備
	４月	定数２１７人
	９月	災害対応広報車（買替え）
	１１月	高規格救急自動車１台購入（新規）
	１１月	水難救助支援車（買替え）

平成２５年	３月	水槽付消防ポンプ自動車（水Ｉ－Ａ型）（買替え）
	３月	支援車Ｉ型（総務省消防庁　無償使用制度による貸与）
	４月	事務局廃止（組織改編）
	４月	定数２２４人
	１２月	高規格救急自動車１台購入（新規）
平成２６年	２月	救助工作車（買替え）
	４月	津波・大規模風水害対策車（総務省消防庁　無償使用制度による貸与）
	８月	査察指導車１台購入（買替え）
	１２月	高規格救急自動車１台購入（買替え）
平成２７年	２月	指揮車１台購入（買替え）
	２月	普通ポンプ車（ＣＤ－１型）１台購入（買替え）
	３月	八代消防署日奈久分署庁舎新築移転落成

３．八代広域行政事務組合の地勢



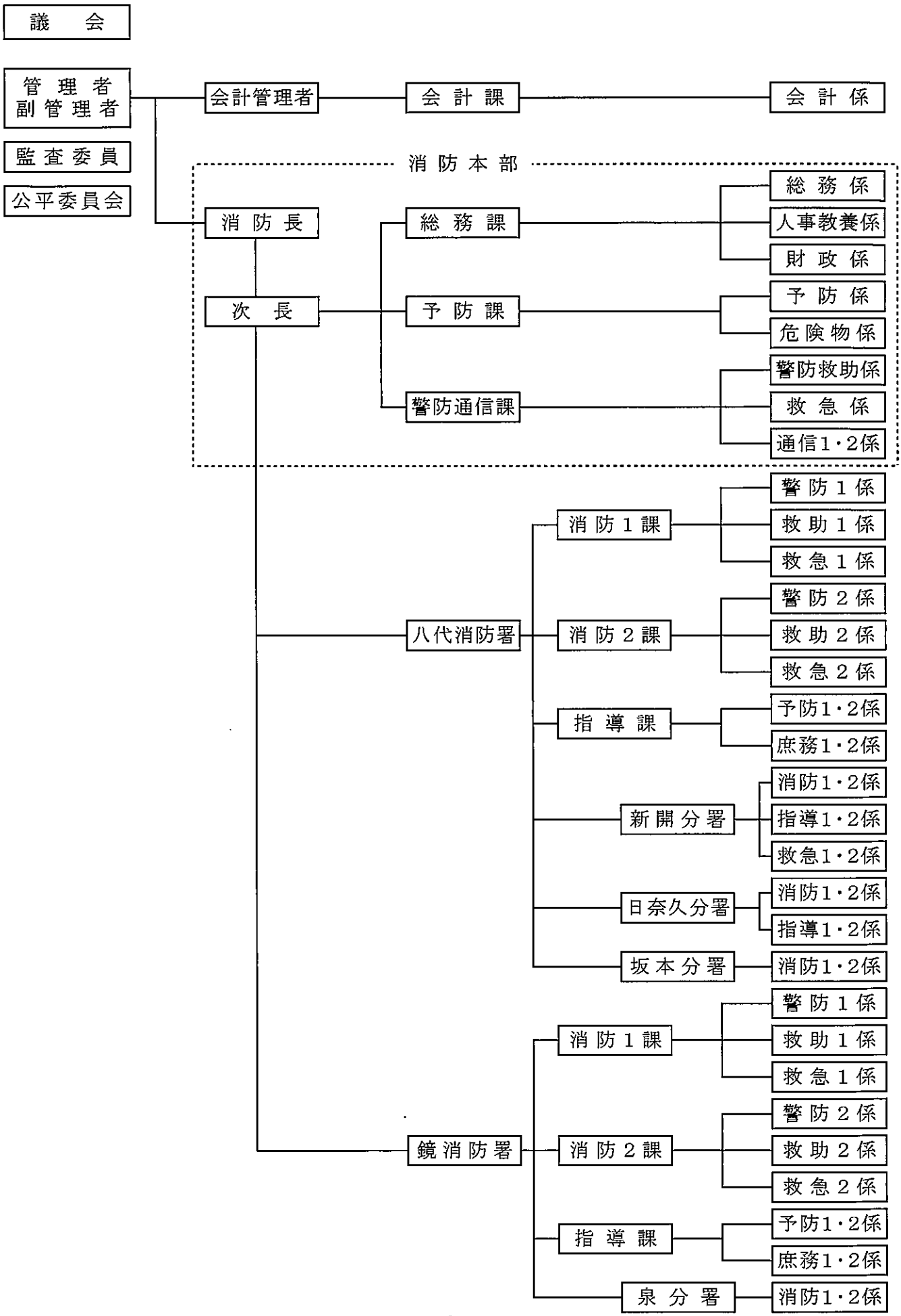
４．面積及び人口・世帯数

人口、世帯数：平成２２年国勢調査
面積：平成２６年国土地理院

区分 / 市町	総面積（km²）	総人口（人）	総世帯数（戸）
八代市	６８１．３６	１３２，２２６	５４，３０９
氷川町	３３．３０	１２，７１５	４，５０８
計	７１４．６６	１４４，９４１	５８，８１７

5. 組合の機構図

平成27年4月1日現在



６．組合特別職及び役職名

執行機関　　(平成２７年４月１日現在)

役職名	氏名	就任年月日	備考
管理者	中村博生	H25.9.18	八代市長
副管理者	藤本一臣	H25.11.7	氷川町長
監査委員	江﨑眞通	H25.10.3	知識経験者
監査委員	田方芳信	H25.10.3	議会選出

議　会　　(平成２７年４月１日現在)

市町名	氏名	任期	備考
八代市	田方芳信	H25.10.3～H29.9.3	監査委員
	成松由紀夫	H25.10.3～H29.9.3	
	山本幸廣	H25.10.3～H29.9.3	
	中村和美	H25.10.3～H29.9.3	議長
	庄野末藏	H25.10.3～H29.9.3	
	堀徹男	H25.10.3～H29.9.3	
	矢本善彦	H25.10.3～H29.9.3	
	野﨑伸也	H25.10.3～H29.9.3	
氷川町	三浦賢治	H25.11.13～H29.11.5	副議長
	片山裕治	H25.11.13～H29.11.5	

消防本部　　（平成２７年４月１日現在）

職　　名	氏　　名	階　　級	就任年月日	備　　考
消　　防　　長	寺本　光弘	消防正監	H27.4.1	
次長兼会計課長	橋本　昭則	消　防　監	H27.4.1	
次長兼予防課長	吉田　一也	消　防　監	H27.4.1	
総　務　課　長	坂井　寿弘	消防司令長	H27.4.1	
課長補佐兼 人事教養係長	谷井　祐典	消防司令	H27.4.1	
副主幹兼 財政係長	今田　博士	消防司令	H27.4.1	
副主幹兼 総務係長	上野　三郎	消防司令	H27.4.1	
課長補佐兼 危険物係長	坂本　晋一	消防司令	H27.4.1	
副主幹兼 予防係長	濱田　克一	消防司令	H27.4.1	
警防通信課長	名島　友則	消防司令長	H27.4.1	
警防通信課主幹	下﨑　健治	消防司令長	H27.4.1	
課長補佐兼 救急係長	松坂　親	消防司令	H27.4.1	
副主幹兼 救助係長	垣下　孝幸	消防司令	H27.4.1	
副主幹兼 通信１係長	和田　裕介	消防司令	H27.4.1	
副主幹兼 通信２係長	田尻　清治	消防司令	H26.4.1	

八代消防署　　（平成２７年４月１日現在）

職　　名	氏　　名	階　　級	就任年月日	備　　考
消　防　署　長	井上　早児	消　防　監	H27.4.1	
副署長兼 指導課長	古川　敬二	消防司令長	H27.4.1	
主　幹　兼 消防１課長	塚田　正治	消防司令長	H27.4.1	
副主幹兼消防１課 警防１係長	満田純一郎	消防司令	H27.4.1	
消防１課 救助１係長	谷口　研朗	消防司令補	H27.4.1	
副主幹兼消防１課 救急１係長	簔原　浩	消防司令	H27.4.1	
副主幹兼指導課 庶務１係長	永田　一也	消防司令	H27.4.1	
副主幹兼指導課 予防１係長	田浦　和則	消防司令	H27.4.1	

主幹兼 消防２課長	鳥越修一	消防司令長	H27.4.1	
副主幹兼消防２課 警防２係長	鶴田信二	消防司令	H27.4.1	
消防２課 救助２係長	丸下進	消防司令補	H27.4.1	
副主幹兼消防２課 救急２係長	宮永恭宏	消防司令	H27.4.1	
副主幹兼指導課 庶務２係長	植田啓二	消防司令	H27.4.1	
指導課 予防２係長	森本真盛	消防司令補	H27.4.1	
新開分署長	吉川学	消防司令長	H27.4.1	
日奈久分署長	吉田正文	消防司令	H27.4.1	
坂本分署長	橋本徹	消防司令	H27.4.1	

鏡消防署　　（平成２７年４月１日現在）

職名	氏名	階級	就任年月日	備考
消防署長	遠山博昭	消防司令長	H27.4.1	
副署長兼 指導課長	川田護	消防司令長	H27.4.1	
主幹兼 消防１課長	藤田照光	消防司令長	H27.4.1	
副主幹兼消防１課 警防１係長	岩本武士	消防司令	H27.4.1	
消防１課 救助１係長	永吉秀博	消防司令補	H27.4.1	
副主幹兼消防１課 救急１係長	木邑健一	消防司令補	H27.4.1	
副主幹兼指導課 庶務1・予防1係長	木下誠道	消防司令補	H27.4.1	
主幹兼 消防２課長	和田浩二	消防司令長	H27.4.1	
副主幹兼消防２課 警防２係長	藤崎豊和	消防司令	H27.4.1	
消防２課 救助２係長	今尾武志	消防司令補	H27.4.1	
副主幹兼消防２課 救急２係長	上野弘二	消防司令	H27.4.1	
指導課 庶務2・予防2係長	吉村満	消防司令補	H27.4.1	
泉分署長	塚本正義	消防司令	H27.4.1	

７．消防本部及び消防署事務分掌

◎　総務課

総　務　係

①　組合議会に関すること。
②　公印の管守及び公告式に関すること。
③　文書の収発整理に関すること。
④　条例、規則、規程等の制定及び改廃に関すること。
⑤　監査委員及び公平委員会に関すること。
⑥　入札に関すること。
⑦　消防長会及び消防協会に関すること。
⑧　その他課内の庶務に関すること。
⑨　他課署の主管に属しない事項に関すること。

人事教養係

①　職員の任免、分限、懲戒、服務及び賞罰その他身分に関すること。
②　職員の給与に関すること。
③　職員の教養及び研修計画に関すること。
④　消防職員委員会に関すること。
⑤　職員の公務災害補償等に関すること。
⑥　職員の衛生管理及び福利厚生に関すること。
⑦　消防音楽隊に関すること。
⑧　その他人事教養係の分掌を適当とする事項に関すること。

財　政　係

①　消防行政の企画及び調整に関すること。
②　広報及び広聴に関すること。
③　予算の編成、執行調整その他財政一般に関すること。
④　諸契約に関すること。
⑤　消防手数料に関すること。
⑥　財産の取得、管理及び処分に関すること。
⑦　庁舎の維持管理に関すること。
⑧　物品及び貸与品に関すること。
⑨　その他財政係の分掌を適当とする事項に関すること。

◎　予　防　課

予　防　係

①　火災予防に関すること。
②　防火思想の普及及び啓発に関すること。

③ 防火対象物の立入検査及び違反処理に関すること。
④ 防火管理者の講習及び指導育成に関すること。
⑤ 防火対象物の防火管理及び消防用設備等（特殊消防用設備等）の届出等に関すること。
⑥ 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律（昭和４２年法律第１４９号）に基づく事務に関すること。
⑦ 建築物の確認申請等の同意に関すること。
⑧ 防火基準適合表示に関すること。
⑨ 自衛消防隊の指導育成に関すること。
⑩ 防火委員会等に関すること。
⑪ 火災原因等の調査及び報告に関すること。
⑫ 火災の統計に関すること。
⑬ 住宅防火対策に関すること。
⑭ 課内の庶務に関すること。
⑮ その他予防係の分掌を適当とする事項に関すること。

危険物係
① 危険物の規制に関すること。
② 危険物施設の許可及び承認等に関すること。
③ 危険物施設の届出等に関すること。
④ 危険物施設の立入検査及び違反処理に関すること。
⑤ 危険物取扱者の講習及び指導育成に関すること。
⑥ 石油コンビナート等災害防止法（昭和５０年法律第８４号）に基づく規制に関すること。
⑦ 火薬類取締法（昭和２５年法律第１４９号）に基づく事務に関すること。
⑧ その他危険物係の分掌を適当とする事項に関すること。

◎ 警防通信課
警防救助係
① 火災その他災害の警防計画及び防災活動に関すること。
② 消防相互応援協定に関すること。
③ 緊急消防援助隊に関すること。
④ 危機管理に関すること。
⑤ 消防職員の招集及び出動計画に関すること。
⑥ 消防職員、消防団員等の訓練及び指導育成に関すること。
⑦ 救助業務に関すること。
⑧ 水難救助隊に関すること。
⑨ 消防自動二輪隊に関すること。
⑩ 警防事務に係る署間の調整に関すること。
⑪ 消防機械器具に関すること。

⑫ 課内の庶務に関すること。
⑬ その他警防救助係の分掌を適当とする事項に関すること。

救　急　係
① 救急業務の計画及び訓練に関すること。
② 救急業務に係る研究、指導及び普及啓発に関すること。
③ 救急業務の調査及び報告に関すること。
④ 救急業務の統計に関すること。
⑤ 救急資器材の維持管理に関すること。
⑥ 救急隊員の教育及び研修に関すること。
⑦ 地域メディカルコントロールに関すること。
⑧ その他救急係の分掌を適当とする事項に関すること。

通信１係・通信２係
① 災害に係る通信及び指令に関すること。
② 気象情報、災害情報及び救急医療情報の連絡に関すること。
③ 消防通信施設の維持管理に関すること。
④ 消防通信に係る調査及び研究に関すること。
⑤ 火災警報の発令に関すること。
⑥ 通信指令に係る支援情報の管理に関すること。
⑦ その他通信係の分掌を適当とする事項に関すること。

◎ 消　防　署
消防１課・消防２課
警防１係・警防２係
① 警防計画及び訓練に関すること。
② 水火災その他災害の予防警戒及び発生時の警防活動に関すること。
③ 消防地理、水利に関すること。
④ 消防機械器具の維持管理に関すること。
⑤ 消防車両の運行管理に関すること。
⑥ 消防署の安全管理に関すること。
⑦ 火災、その他災害の原因及び損害の調査に関すること。
⑧ 火災等報告及び統計に関すること。
⑨ 消防通信に関すること。
⑩ 罹災証明に関すること。
⑪ 消防団等の訓練指導に関すること。
⑫ その他警防係の分掌を適当とする事項に関すること。

救助１係・救助２係
① 救助業務の実施に関すること。

② 救助業務の報告及び統計に関すること。
③ 救助資器材の維持管理に関すること。
④ 消防署の救助技術訓練に関すること。
⑤ 救助隊員の教育に関すること。
⑥ 救助調査に関すること。
⑦ その他救助係の分掌を適当とする事項に関すること。

救急１係・救急２係
① 救急業務の実施に関すること。
② 救急報告及び統計に関すること。
③ 救急搬送証明に関すること。
④ 応急手当普及啓発に関すること。
⑤ 救急資器材の維持管理に関すること。
⑥ 救急隊員の教育に関すること。
⑦ その他救急係の分掌を適当とする事項に関すること。

指　導　課
庶務１係・庶務２係
① 服務及び規律に関すること。
② 職員の配置に関すること。
③ 庁舎の維持管理に関すること。
④ 消防統計及び広報に関すること。
⑤ 物品の保管に関すること。
⑥ 消防署に係る予算に関すること。
⑦ その他庶務係の分掌を適当とする事項に関すること。

予防１係・予防２係
① 火災予防に関すること。
② 防火思想の普及啓発に関すること。
③ 防火対象物及び危険物施設の立入検査及び違反処理に関すること。
④ 防火対象物の防火管理及び消防用設備等（特殊消防用設備等）の届出等に関すること。
⑤ 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律（昭和４２年法律第１４９号）に基づく事務に関すること。
⑥ 住宅防火対策に関すること。
⑦ 防火基準適合表示に関すること。
⑧ その他予防係の分掌を適当とする事項に関すること。

８．歴代消防長

	氏　　名	就任年月日	退任年月日	在任期間	備　　考
八代市消防本部設置（昭和２８年５月１日）					
初代	要名本義武	昭28. 5. 1	昭30. 10. 19	２年６ヶ月	八代市助役兼務
２代	大原　義利	昭30. 10. 20	昭37. 1. 31	６年３ヶ月	専　　任
３代	村上　喜一	昭37. 2. 1	昭38. 3. 31	１年２ヶ月	専　　任
４代	増田　正則	昭38. 4. 1	昭41. 9. 30	３年６ヶ月	専　　任
５代	田添　武幸	昭41. 11. 2	昭44. 8. 1	２年９ヶ月	専　　任
６代	浜田　　篤	昭44. 8. 2	昭46. 8. 30	２年１ヶ月	専　　任
７代	加藤　敏冶	昭46. 9. 1	昭48. 3. 31	１年７ヶ月	八代市助役兼務
八代消防組合消防本部（昭和４８年４月１日）					
初代	加藤　敏冶	昭48. 4. 1	昭48. 4. 8	８日	八代市助役兼務
２代	坂本　義春	昭48. 4. 9	昭50. 3. 31	２年	専　　任
３代	郡　　道雄	昭50. 7. 1	昭50. 8. 31	２ヶ月	（次長）消防長職務代理者 昭50. 4. 1～昭50. 6. 30
八代広域行政事務組合消防本部名称変更（昭和５１年７月１日）					
初代	高崎　満利	昭51. 7. 1	昭53. 12. 31	２年６ヶ月	（次長）消防長職務代理者 昭51. 4. 1～昭51. 6. 30
２代	吉崎十四喜	昭54. 1. 1	昭57. 12. 31	４年	
３代	橋本　隆義	昭58. 1. 1	昭59. 3. 31	１年３ヶ月	
４代	伊藤平三郎	昭59. 4. 1	昭62. 3. 31	３年	
５代	田代　　収	昭62. 4. 1	平 1. 3. 31	２年	
６代	西村　征也	平 1. 4. 1	平 5. 3. 31	４年	
７代	末原　康臣	平 5. 4. 1	平 6. 3. 31	１年	
８代	沖田　嘉典	平 6. 4. 1	平 6. 4. 12	１２日	代表理事事務取扱
９代	草西　信義	平 6. 4. 13	平 6. 4. 30	１８日	
１０代	岩本　徹也	平 6. 5. 1	平 8. 3. 31	１年11ヶ月	
１１代	沖田　嘉典	平 8. 4. 1	平 8. 4. 30	１ヶ月	代表理事事務取扱
１２代	村上　輝男	平 8. 5. 1	平11. 3. 31	２年11ヶ月	
１３代	上村　龍治	平11. 4. 1	平12. 3. 31	１年	
１４代	小屋野健一	平12. 4. 1	平13. 3. 31	１年	
１５代	山田　敏秋	平13. 4. 1	平14. 3. 31	１年	
１６代	園田　英機	平14. 4. 1	平15. 3. 31	１年	
１７代	柗村　宗治	平15. 4. 1	平16. 3. 31	１年	
１８代	本田　榮一	平16. 4. 1	平17. 3. 31	１年	
１９代	宮﨑　定美	平17. 4. 1	平18. 3. 31	１年	
２０代	宮本　安昭	平18. 4. 1	平21. 3. 31	３年	
２１代	徳田　　司	平21. 4. 1	平22. 3. 31	１年	
２２代	小島　秀昭	平22. 4. 1	平26. 3. 31	４年	
２３代	石澤　　修	平26. 4. 1	平27. 3. 31	１年	
２４代	寺本　光弘	平27. 4. 1	現在に至る		

9．消防相互応援協定状況

指定名称	協定団体等	協定内容	締結年月日
赤松・海浦・佐敷及び津奈木トンネルにおける事故発生時の通報連絡に関する協定	建設省熊本工事事務所 熊本県警察本部 八代市・田浦町・芦北町・津奈木町・水俣市	通報連絡	昭和５０年６月１日
熊本県 消防相互応援協定	熊本県下全市町村 熊本県下全消防本部	火災その他の災害	平成２７年４月１日
熊本県地域救急医療情報センターの管理運営に関する協定	熊本県	情報の管理及び運営	昭和５４年１２月１日
九州自動車道等における消防相互応援協定	九州自動車道等沿線市町村・消防本部	九州自動車道・ 九州中央自動車道・ 南九州西回り自動車道における災害	平成２７年４月１日
海上における船舶火災の消火活動に関する業務協定	三角海上保安部	沿岸における業務	昭和６０年２月１日
熊本防災消防ヘリコプター応援協定	熊本県下全市町村 熊本県下全消防本部	救急救助活動 災害応急対策活動 火災防ぎょ活動 広域航空消防防災応援活動	平成１３年３月２８日

１０．平成２６年度中の主な行事

４月	熊本県消防長会臨時会（益城） 城南ブロック消防本部協議会理事会（八代） 熊本県消防長会春季総会・消防職員意見発表会（上球磨） 第３８回八代広域消防本部救助技術大会
５月	全国消防長会九州支部春季総会・消防職員意見発表会（沖縄） 熊本県消防殉職者慰霊祭（熊本） 熊本県石油コンビナート等防災本部合同会議（熊本県） 熊本県消防本部救助技術大会（益城） 全国消防長会総会・消防職員意見発表会（宮城） 全国消防長会技術委員会（大阪） 八代市防災訓練
６月	氷川町防災会議 熊本県消防本部救助技術大会（水上の部）（人吉） 城南ブロック消防本部協議会警防・通信担当課長会（八代）
７月	九州地区消防救助技術指導会（宮崎） 城南ブロック消防本部協議会予防課長会（人吉） 熊本県消防長会指導指針会議
８月	熊本県消防操法大会（人吉） 全国消防長会九州支部消防実務研修会（長崎） 熊本県消防長会総務担当課長会議（宇城） 城南ブロック消防本部協議会総務課長会（上球磨） 全国消防救助技術大会（千葉） 熊本県消防長会予防・危険物担当課長会議（水俣）
９月	熊本県消防長会救急担当課長会議（阿蘇） 熊本県消防長会警防・通信担当課長会議（上益城） 城南ブロック消防本部協議会潜水隊合同訓練（水俣） 城南ブロック消防本部協議会署長会（水俣）
１０月	熊本県消防長会秋季総会（菊池） 職員運動適正テスト（体力測定） 甲種防火管理講習会（八代） 九州地区消防音楽隊演奏技術研修会（佐賀）
１１月	九州ブロック緊急消防援助隊合同訓練（福岡） 城南ブロック消防本部協議会消防隊合同訓練（上球磨） 秋季全国火災予防運動 職員競争試験（消防司令補、消防士長） 全国消防長会九州支部消防長研修会
１２月	第１７回防火もちつき大会 年末特別警戒（管内市町）
１月	消防出初式（管内市町） 文化財防火訓練
３月	春季全国火災予防運動 城南ブロック消防本部協議会臨時総務課長会（人吉） 城南ブロック消防本部協議会職員特別研修会（人吉） 第３６回八代広域消防職員意見発表会 熊本県消防長会臨時会（熊本）